２０２２年１月２５日

「学校法人札幌静修学園　新キャンパス整備計画」
パートナー選定プロポーザル実施要項

はじめに

学校法人札幌静修学園は 2022 年に創立 100 周年を迎えます。また 2023 年には新たに通信課程を設置し、自然豊かな北海道の地を活かした更なる教育活動の展開と、新しい社会を担う人材の育成に取り組みたいと考えています。学園を取り巻く教育環境や社会環境は著しく変化し、生徒や社会から期待されるニーズも高度化・多様化が進む一方で、キャンパス内の校舎群は築 60 年を迎える建物が大半となり、「学園校舎・施設の老朽化への対応」と「新しい教育環境の創出」が喫緊の課題となっています。

そのため、本学園は校舎施設の刷新と教育活動機能の向上を目指し、既存キャンパスの再整備を推進することとしました。本趣旨をご理解いただいたうえで、学園の将来を見据えた基本計画から設計・施工までを一括してご担当いただけるパートナー企業を選定したく応募を依頼いたします。

１．プロポーザルの要領について

（１）名　称　：学校法人札幌静修学園　新キャンパス整備計画

（２）発注者　：学校法人札幌静修学園　理事長　西辻一真

住　所：札幌市中央区南 16 条西 6 丁目 2-1

ＴＥＬ：011-521-0234

ＦＡＸ：011-511-9008

窓　口：学校法人札幌静修学園事務局

担　当：事務長　越野直樹

E-Mail：n.koshino@sapporoseishu.ed.jp

（３）日　程　：以下のとおり実施します。（予定を含む。）

・参加表明書（実績調書を含む。）の提出
（共同体の場合は、共同体参加申請書を含む。）
２月８日（火）16:00 迄
※窓口あてに持参または郵送（必着）で提出願います。

・現地説明:　２月 15 日（火）まで随時（要：事前連絡）

・質疑の受付:　２月 15 日（火）16:00 迄
※配布の書式を用いて窓口あてに E-mail で提出願います。

・回答送付:　２月 25 日（金）17:00 迄

・提案書提出:　４月 5 日（火）16:00 迄
※窓口あてに持参または郵送（必着）で提出願います。

・ヒアリング実施:　４月 19 日（月）　予定
※詳細は後日連絡します。

・選定企業の決定：　４月下旬 予定

２．プロポーザルの内容と提案書の作成について

（１）パートナー選定方針

本学園が選定するパートナー企業に期待することは、新しい時代の教育ニーズに応えることのできる新キャンパスを、学園の要望を誠実に反映しながら完成させることです。本学園が設計者と施工者を一括選定する趣旨を理解し、本事業を推進するにあたってふさわしい企業であることを、提案書およびヒアリングを通じて、総合的に評価させていただきます。

（２）資格要件

提案者は、次の資格を満たしている単体企業又は、共同体であることが必要です。

なお、共同体にあっては、①については各構成員が業務に対応するいずれかの資格を有していること。②については、構成員単体の実績を含みます。

① 令和３・４年度の北海道の建築設計及び建築工事（格付等級 A）の資格を有していること。

② 過去 10 年間に、新築、改築又は増築の設計及び建築工事のうち、本事業と同種、同規模の実績を有していること。

（３）配付等資料

① パートナー選定プロポーザル実施要項（本紙）
② 学校配置図（概略図）
③ 参加表明書書式（実績調書書式を含む。）
④ 設計・建築等共同体提案参加申請書書式（共同体のみ提出）
⑤ 提案書書式
⑥ 質問書書式
⑦ 閲覧資料（参加表明後に札幌静修高等学校で閲覧可能（要：事前連絡））
　ア 既存校舎耐震診断報告書（別冊・報告書内に既存校舎平面図あり）
　イ 現校舎校内配置図

（４）提出物

提案書書式に次の書類を添付してください。

① 業務内容と進め方（A3_1 頁）
② 新キャンパスの考え方（A3_2 頁以内）
③ 設計・施工スケジュール（A3_1 頁）
④ 推進体制（A3_1 頁）
⑤ 想定事業費（A3_1 頁）
⑥ 業務実績（A3_1 頁）

・上記提出物の枚数を超える場合は、参考資料として添付してください。
・提出物は、A3 サイズ左綴じとし、①～⑥の順に指定頁数以内にまとめ 10 部、及びＣＤ－R に焼いた PDF データをご提出願います。
・提出いただいた提案書は返却いたしません。
・提案にかかる費用は、提案企業負担とさせていただきます。

3．新キャンパスに求めるもの（要求基準）（現在の想定であり、変更となる場合があります。）

（1）計画について

【全体】

・耐震性が不足する校舎の改築（耐震補強を含む。）について、補助金申請する予定
・敷地を東西に貫通する市道について、法的に可能な範囲での空間等の有効活用
・仮設校舎は設置せずに完成をする
・卒業生や地域の人が利用しやすい開けた校舎

【敷地】

・静修の森は取り壊し校舎を建設する。
・敷地を有効に利用できる計画を希望する
・既存高校校舎と同等の教育活動が実施できる諸室を確保する
・体育館はできるだけ現状の大きさとしたい
・駐車場の確保（60 台以上、大型・中型バス 4 台）

【機能】

・テナント用等として活用できる場所を用意する
・使いやすく管理しやすい、環境に配慮された校舎
・カーボンニュートラルの実現に向けた取組を踏まえ、脱炭素化に向けた効果的な省エネ手法の導入
・校舎、設備等の維持管理費用が掛からない施設整備システムの採用

（2）スケジュールについて

・実施設計等と工事等については、各々契約します。なお、2022 年度中の実施設計の納品及び 2023 年度の工事開始を希望します。完成時期についてはご提案ください。
・一度に全ての校舎建替えができない場合は、その手順についてご提案ください。

（3）想定事業費について

・下記の費用を含む事業予算計画をご提示ください。なお、金額は事業予算の目安とするためであり、金額が低いことのみを評価するものではありません。
① 設計費
② 建築工事費
③ 既存校舎解体費
④ 附帯工事費等

・上限予算は①から④までの項目で 40 億円（税込）とします。また、事業推進に必要なもので上記予算に含まれないものがあれば、別途工事として記載してください。
・耐震補強工事を実施する場合の事業費は、上限予算とは別途に提示してください。

以上